

2013年4月度土曜例会 (2013/04/20)

本日のゲストスピーカーは毎年秋に行われる英語スピーチコンテストの審査委員長としておなじみの **Ralph Terence Jean Bosman** さん。中高生に対して聞き手が頭の中で整理するまで間合いを充分に取り、次のセンテンスに進みましょう、オーバーアクションにならず、主語をあまり強調しないこと、聞き手に伝える事がスピーチです、といつもやさしく指導されているのが印象的な先生です。1954年生まれ、1,976年イギリスから来日、母親はフランス人。**Professor of English & French Culture & Language & Irish Culture** として関西外大、企業などで教鞭をとっています。趣味は乗馬、ハープ演奏、合唱、そして絵を描く事など。そして本日のタイトルは“**A European in Education in Japan**” さてどのような内容なのでしょうか？



Intro: my education and my career in brief.

1) Changes in discipline in my teenage years.

物心ついた8歳の時にはあのビートルズが結成2年目、16歳の時に解散、彼らが大きくヨーロッパのみならず世界を変えた事は彼の10代の人格形成にも大きな影響がありました。

Beatles changes in fashion, hippies, skinheads etc. サイケデリックな色彩、ファッションがまかり通りました。世界を旅し、いろいろな文化に触れた **Singer songwriter Chemise Antoine** も見逃せません。A-level試験を目指す16歳以上の生徒を専門的に教育する学校 **Sixth Form** でもルールが変わりユニフォーム、ソックス、タイなどの色使いやデザインも変化が見られました。ベルボトムパンツ、サンダル履きでさえOKです。でも **Some people changed and others didn't. Teachers have to win respect.** この時代は **Swinging Sixties** と呼ばれます。



ウインブルドン近くの町で高校までを過ごしケンブリッジ大学に入学、フランス文学、ラテン文学を学びました。Ovid という詩人についても言及あり。あまり面白くはなかったそうです。ケンブリッジの寮では **9:00-2:00am** は部屋に人を入っては駄目という規則もありました。(ここで先生の一言：「Paul

McCartney が **Knight** の称号を与えられのだから、**Ringo Starr** にも **Knight** の称号を与えてほしい。)」

2) 1974/05/10 午前11時 金曜日 日本について突如目覚めたような。そして翌年6週間の日本旅行に踏み切ります。そして日本に到着、膳所の女性とお友達になったけれど東京人いわく何だあの大阪弁は？ それに関西人はすぐ金のことを言う、と関西に対し散々でした。でも東京は

stressful であり好きには成れませんでしたが関西には good quality が沢山あります。京都も素晴らしい。

3) 一時帰国後は英仏とも経済状態が悪くなく再来日、東京の渋谷、吉祥寺、新宿、六本木などで教える事になります。その時の規則として言われたこと。(60年代以前の英国)

- 名字で呼べ
- スーツを着ろ
- 遅刻するな
- 生徒は友達ではない。

時間があつたので、テレビドラマを見たが、学校の先生が早口でまくしたてるような通常の日本語と違うような違和感を覚えたとのこと。very crowded な stressful city に馴染めず、関西に移る、関西外大で教え始めたが大学生と言うのは“ They don't study”、同時に企業でも教えたがそれはそれは厳しく Have we gone back to pre-Beatles society? と 言う感じでした。



ファイト、ファイトとともかく必死で働く人たちでしたから。

イギリスでは学校で何かルールを破ると、先生に ferula を命じられ、ferula の部屋に行かされる。部屋に入ると、その担当の先生が "How many?" と聞き、生徒は "Two." とか "Three." と答える。その数だけ鞭で手のひらを打たれる。生徒は打たれた後、"Thank you" と言う。

(ここで先生の一言:「これからルールを破るので、ferula を受けます。」と先生に言うと、「先に自己申請した生徒は初めて。」とびっくりされた。もう一言「母がフランス人なので、学校の先生より上手にフランス語を話せたので、フランス語の授業では学ぶものがなかった。」)

4) 日本での教育戦略

- テーブルを取り除き先生生徒の垣根を無くしました。
- No Japanese 使ったら罰として一回 50 円、コーヒブレイクのビスケット代に。
- One strategy Greek のことわざ Never forget the hand! 日本人はパーフェクトを求めすぎます。
- 一般に悪たれ小僧って健康的でしょう。
- It's not punishment but training と感じてください。

Strategies in class, no table, fines for speaking Japanese, differences in types of nervousness. (Europeans are nervous too!)

Make mistakes, now is the time to make them, body training, rhythm training, release from restriction/ fixed ideas, got stricter as time went on, positive strictness and negative strictness. Revenge? Enhancement of and need for curiosity, use of music, color, acting, left hand? Students are receptive to fashion.

大学では、No talking, Don't do other homework, Don't use Cellular phone, Take your head off your table. をルールとしているそうです。

ここで Vocabulary book の紹介がありました。



なるほど！

Rhythm, body training に関しては安部総理のリラックスした話し方 good とのこと、また研ナオコと北島三郎は“お”の発音、口のあけ方が違うそう。

また Ayaan Hirsi Ali (feminist and atheist activist, writer and politician) と Souad の Burned Alive の紹介もありました。好奇心を持ち、音楽、色彩、演技なども取り入れる、書くことも大事な要素です。

(先生は右利きだったが、左手も訓練することによりどちらの手でも作業できる術を身につけられた。)

5) Importance of desire (Crimond) But we get nowhere without desire.

Their boring world is the only one they've got. Want to learn. Want to achieve.

Crimond 作、聖歌 The Lord is my shepherd から、また日本で英語、キリスト教、イギリス文学などを教えた Peter Milward の言葉から I want this, I want that などの Desire は normal ですよ、Learning is always Painful だけれど楽しみに変えなさい、とのこと。

(The Lord is my shepherd を聞いてみて下さい、Bosman さんの美しい歌声が連想されます。)

6) Dangers in today's world military. Islam, political correctness, a long way to go yet, but nothing ventured nothing gained. How important is happiness to teach JHS students, and to give speeches at speech contest. God helps those who help themselves.

Political correctness の事例として chairman, chairperson, fire man, fire fighter, テロリストにムスリムが確率的に多い、でもムスリムがテロリストというのは過っているなどです。

Q&A

- 70 歳を超えて頭の働きが鈍くなりましたが？ political correctness です。超 70 歳は not old と考えて下さい。
- しばらく住んでおられた東京はいかがでしたか？ 井の頭線の色が多彩で電車に乗るのが楽しみでした。日本語の勉強のために、車掌さんのアナウンスを注意深くきいていました。そのうち、声と車掌さんの名前が一致するようになりました。10 数年後、久しぶりに乗った電車から懐かしい声のアナウンスが聞こえてきた。「あ！..さんの声だ。」最後尾の車両に行き、「以前、..の車掌さんでしたね。」と確かめると、その車掌さんは、とても喜んで下さった。
- レベッカやジェーンエアの中の女性は筆記体で文字を書いている。自分は知っている人たちは、皆、活字体で書いているが何時頃からそうなったのですか？ print、cursive と言います。今でも筆記体で書く人多いです。
- 英語学習に関してのポイントは？ Listen, know, feel, think, express です。自分の意見を発言しましょう。自分の学生達には、OX問題にしないで、7つテーマを出して、1つ選び自分の意見を書く試験にしています。

最後は、先生が常に使われているフレーズ”I thank you”で締められました。

